

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-127762

⑬ Int. Cl.

B 41 J 32/00

識別記号

庁内整理番号

Z-7339-2C

⑭ 公開 平成1年(1989)8月31日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 インクリボン包装体

⑯ 実 願 昭63-20525

⑰ 出 願 昭63(1988)2月18日

⑱ 考 案 者 鈴木 秀 樹 大阪府大阪市西淀川区歌島4丁目8番43号 富士化学紙工業株式会社大阪工場内

⑲ 出 願 人 富士化学紙工業株式会社 大阪府大阪市西淀川区歌島4丁目8番43号

⑳ 代 理 人 弁理士 北 村 修

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- 1 染料にて着色された液状インクを含有するインクリボンR、若しくは、それを収納したインクリボンカートリッジCを包装材2にて包装してあるインクリボン包装体であつて、前記包装材2を非通気性の材料から構成するとともに、この包装材2にて前記インクリボンR若しくはインクリボンカートリッジCを気密状態で包装し、かつ、前記包装材2内を酸素の少ない又は酸素の無い状態に構成してあるインクリボン包装体。
- 2 前記包装材2内を酸素の少ない又は酸素の無い状態に構成する手段が脱酸素剤1を封入する手段である請求項1記載のインクリボン包装

体。

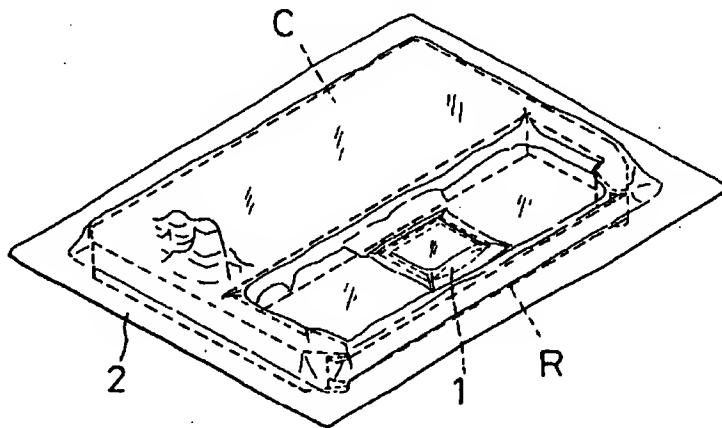
- 3 前記包装材2内を酸素の少ない又は酸素の無い状態に構成する手段が不活性ガスを封入する手段である請求項1記載のインクリボン包装体。

図面の簡単な説明

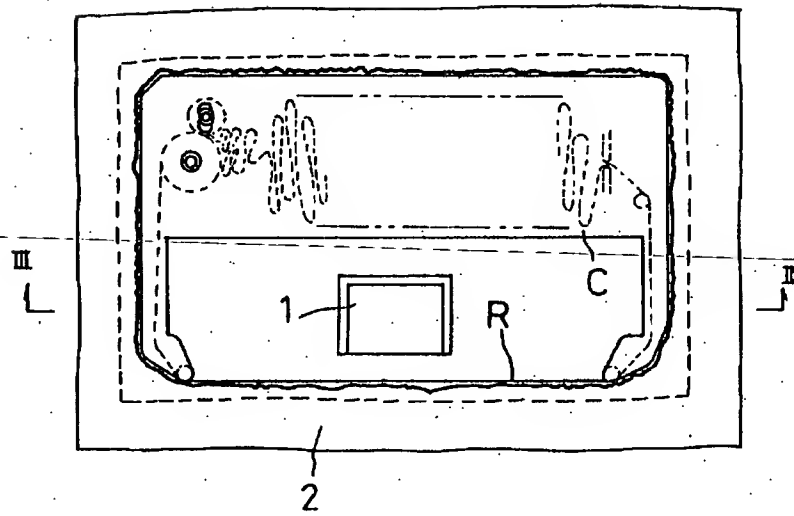
第1図乃至第3図は本考案に係るインクリボン包装体の実施例を示し、第1図は全体の斜視図、第2図は一部切欠平面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線断面図である。第4図、第5図は別の実施例を示す全体の斜視図と一部切欠平面図である。

C……インクリボンカートリッジ、R……インクリボン、1……脱酸素剤、2……包装材。

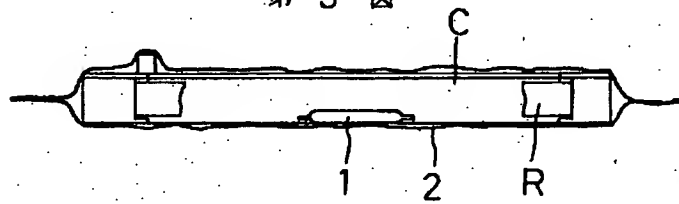
第 1 図



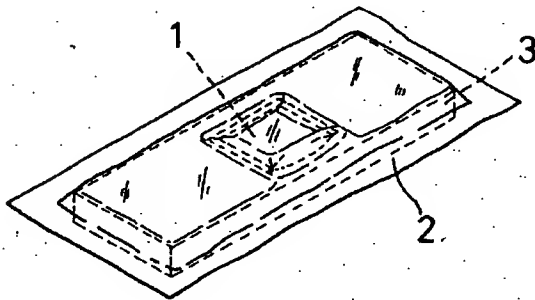
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

